



鳳徳だより

—学校評価—

平成27年3月13日

京都市立鳳徳小学校
校長 小宮山 修子

TEL：075-491-3592
FAX：075-491-0616
http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hotoku-s/



平成26年度 後期学校アンケート結果のお知らせ

日ごとに暖かさを感じられるようになりました。平素は本校教育に何かとご支援ご協力いただきましてありがとうございます。

保護者の皆様には、お忙しい中、学校アンケートにご協力いただきありがとうございます。保護者アンケート，児童アンケート，そして，教職員の自校評価をふまえ，継続していくべきところ，改善していくべきところを明らかにし，今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。



◇◇ アンケートについて ◇◇

2月2日から10日までの間に，児童，保護者，教職員の3者がそれぞれ学校の取組について評価したアンケートの結果を集計しました。今回は，それぞれの項目についての実現度を前期と比較することで，この1年間の取組を振り返りました。前期からの変容と年間通しての新たな課題について分析し，ご報告していきたいと思います。

保護者と教職員のアンケート内容は，大きく2つに分け，「◆子どもと学校のこと」，「◆子どもと家庭のこと」について尋ねました。内容は，子どもの学校生活に関することを6項目，学校の取組に関することを6項目，家庭生活や地域等に関することを6項目とし，合計18の質問項目を立て，それぞれの項目につき，「重要度－実現度」を尋ねる形式でアンケートを実施しました。また，自由記述欄を設け，具体的なご要望や学校への思いを記述していただきました。

児童アンケートは，学校生活に関することを8項目，家庭生活のことを5項目，合計13の質問を行いました。

★児童アンケートから★

本校の児童は「楽しく学校に来ている」と答える児童が96％を超えています。しかし，残りの4％（約10名弱）の児童は満足していません。実現度を前期と比較してもほぼ同じ結果でした。すべての子どもが「学校が楽しい」と言えるように心がけていきたいと思います。

では，実現度を前期と比較して，上昇した項目と下降した項目について考察していきます。

○前期より実現度が上昇した項目

じぶんからすすんであいさつをしている。（0.2p）

きまりややくそくをしっかりとまもっている。（0.2p）

児童会の計画委員が中心となって，毎月の生活目標に，「あいさつ」や「やくそくを守る」事に取り組みました。その成果が現れたと思います。児童が自ら問題意識を持ち，行動を起こすことで規範意識の向上につながったと考えられます。今後も大切にしたい取組です。

いえでのがくしゅうをいつもしている。（0.3p）

前期に比べ微増ですが，家庭学習の定着が見られるようになってきました。結果として，1月に行ったジョイントプログラム（5，6年），プレジョイントプログラム（3，4年）では，どの学年も全市の平均を上回る結果となりました。

児童アンケート 実現度（前期との比較）				
	質問項目	実現度 前期	実現度 後期	実現度 後期－前期
学校のこ と	①たのしくがっこうにきている。	6.2	6.2	0
	②じぶんからすすんであいさつをしている。	5.6	5.8	0.2
	③ともだちとなかよくしている。	6.4	6.3	－0.1
	④あきらめずにさいごまでがくしゅうしている。	5.8	5.8	0
	⑤ものをたいせつにし，あとかたづけをしている。	5.6	5.6	0
	⑥きまりややくそくをしっかりとまもっている。	5.8	6	0.2
	⑦はっきりとじぶんのおもいはなしている。	5.2	5.1	－0.1
	⑧あいてのはなしをしっかりときいている。	6.1	5.4	－0.7
おうち のこ と	①いえでのがくしゅうをいつもしている。	5.4	5.7	0.3
	②いえでほんをよんでいる。	4.6	3.7	－0.9
	③かぞくのいちいんとしておてつだいをしている。	5.2	4.2	－1
	④おうちのひととじぶんのことやがっこうのことをはなしている。	5.5	4.4	－1.1
	⑤はやね・はやおきなどけんこうをかんがえてすごしている。	5.1	4	－1.1

△前期より実現度が下降した項目

あいてのはなしをしっかりときいている。（－0.7）

相手の話を聞くということは，相手を認めるということです。友だちを認め，大切にすることにもっと気付けるよう指導を進めていかなければなりません。また，学級での「話す－聞く」ルールの特検と，指導の徹底が必要であると感じました。話す・聞くの基本をしっかりと指導していきたいと思います。

おうちのひととじぶんのことやがっこうのことをはなしている。（－1.1p）

「たのしくがっこうにきている。」「ともだちとなかよくしている。」にもかかわらず，家庭で自分のことや学校のことを話すことが少ないようです。子ども達が自信をもって学校での出来事を話せるよう，学校では取組の充実を図っていききたいと思います。

はやね・はやおきなどけんこうをかんがえてすごしている。（－1.1p）

前期，後期とも実現度が低い項目です。冬休み明けの「すこやかチェック」でも課題となった内容で，冬という季節的な要因もありますが，子どもたちの早寝早起きを促す指導と規則正しい生活習慣の確立をめざす取組を進めていききたいと思います。

かぞくのいちいんとしておてつだいをしている。（－1p）

お手伝いの意味や，家族の一員としての役割などについて，学校では道徳の時間や学級活動などを通して意欲の向上を図っていききたいと思います。また，家庭との連携の中でお手伝いを習慣化できるよう働きかけを図っていききたいと思います。

いえでほんをよんでいる。（－0.9p）

学校では朝読書や読み聞かせなど読書に親しむ時間を確保していますが，日常生活の中に定着していないようです。家庭で過ごす時間の中に読書の時間を確保できるよう，家庭と連携して働きかけていききたいと思います。

★保護者アンケートから★

保護者アンケートでは，下記の質問項目以外に自由記述でもご記入いただきました。自由記述では，「子どもは先生に話を聞いてもらって安心しているが，もっともっと聞いてほしいと思っている。」「家庭との連携を密にとっていただきありがたい。」「学校の様子を知らせてもらっているが，情報をもっと発信してほしい。」「見守り隊の皆さんには感謝しているが，通学路の安全（交通，不審者）

が心配。」「子どものゲームやケータイ、インターネットの使用について子どもも保護者も学習していくことが必要。」というようなご意見をいただきました。以下には、前期との比較から考察をしていきます。

保護者アンケート 実現度（前期との比較）				
	質問項目	実現度 前期	実現度 後期	実現度 後期－前期
学校のこと	①子どもは楽しく学校に通っている。	7.6	7.9	0.3
	②子どもは進んで挨拶をしている。	6.6	6.8	0.2
	③子どもは友だちと仲よくしている。	7.6	7.6	0
	④子どもはあきらめずに最後まで学習している。	6.5	6.9	0.4
	⑤子どもは物を大切にし、後片付けをしている。	5.8	5.9	0.1
	⑥子どもはきまりや約束を守っている。	6.9	7	0.1
	⑦学校はわかりやすい授業をしている。	7	6.9	-0.1
	⑧学校は健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	7.2	7.2	0
	⑨学校は人権を大切にした教育活動を行っている。	6.6	6.7	0.1
	⑩学校は保護者と連携を密にしている。	7.1	6.8	-0.3
	⑪学校は地域と連携した取組を行っている。	7.2	7	-0.2
	⑫学校は方針や取組をわかりやすく伝えている。	6.9	6.5	-0.4
おうちのこと	①子どもは早寝・早起き等、健康を考えて過ごしている。	6.7	6.6	-0.1
	②子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。	6.8	6.8	0
	③子どもは家庭で読書をしている。	5.3	4.2	-1.1
	④子どもは家庭で手伝いをしている。	5.5	4	-1.5
	⑤保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。	6.6	4.5	-2.1
	⑥保護者はPTA活動や地域行事に参加している。	5.9	4.6	-1.3

○前期より実現度が上昇した項目

子どもは楽しく学校に通っている。（0. 3p）

児童の結果同様、子どもたちが楽しく学校へ通っていると評価していただいています。また、前期よりその指数は向上しており、「伸び伸びと学習できる」「笑顔のある」「気持ちのいいあいさつができる」学校を目指して更に取り組んでいきたいと思っています。

子どもは進んで挨拶をしている。（0. 2p）

かねてからの課題であった「挨拶」について、向上の様子が伺えます。家庭と学校が連携してその重要性を共有し、共に取り組んできた結果ではないかと考えます。引き続き取り組んでいきたいと思っています。

子どもはあきらめずに最後まで学習している。（0. 4p）

子どもの実現度よりポイントが高いのは、保護者の方が子どもたちの学習する姿を温かく見守り、好意的に見ていただいている結果だと思っています。引き続き、ご家庭での励ましをお願いいたします。

△前期より実現度が下降した項目

学校は保護者と連携を密にしている。（-0. 3p）

学校は方針や取組をわかりやすく伝えている。（-0. 4p）

学校として改善していかなければいけない点であります。保護者との連携は、日々の連絡帳のやり取りから毎週・毎月のおたよりや学校ホームページまで様々です。教職員がそれぞれの立場で必要に応じて連携や情報の発信に努めていきたいと思っています。

子どもは家庭で読書をしている。（-1. 1p）

子どもは家庭で手伝いをしている。（-1. 5p）

家庭での時間の使い方や、家族の一員としての役割分担を位置づけてもらえるよう、学校からも働

きかける必要があると感じています。読書については、低学年であれば保護者による読み聞かせなどが効果的です。「テレビを見ながら」の読書ではなく、読書する時間を確保できるようにお願いしていききたいと思います。手伝いについては、子どもの自発性を大切にして、任せた仕事はやりきれるまで我慢する根気とやり遂げたことへの賞賛をお願いしたいと思っています。

保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。（-2. 1p）

保護者はP T A活動や地域行事に参加している。（-1. 3p）

お仕事がお忙しい中、工夫して子どもと向き合う時間を作っていただいていることが自由記述からも伺えました。また、P T Aの行事やふれあい活動では、お忙しい中、多数の保護者の方に協力していただいています。子どもたちはふれあい活動を楽しみにしています。保護者の方同士がつながり複数の大人の目で見守っていただければ、子どもたちもより安心して過ごせるのではないのでしょうか。

★教職員アンケートから★

紙面の都合上、考察のみ掲載します。

○前期より実現度が上昇した項目

子どもは早寝・早起き等、健康を考えて過ごしている。（1. 4p）

子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。（1. 2p）

共に、生活習慣に関することである。長期休業明けには、P T A本部とともに朝の声かけ運動を行い、保健室から「すこやかチェック」を行っている。家庭との連携を図ると共に、学校から家庭への働きかけも引き続き充実させていきたい。

保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。（2. 1p）

保護者はP T A活動や地域行事に参加している。（1. 1p）

学校としてできることは何か、しっかり考えていきたい内容である。P T A活動や学級懇談会などの機会に、親子の触れ合いを深める活動を取り入れるなど工夫し、ふれあい活動や地域との交流を深める活動を保護者も巻き込んでできるよう工夫を図っていきたい。

△前期より実現度が下降した項目

子どもは物を大切にし、後片付けをしている。（-0. 7p）

各学級では指導がされているが、子どもたちの持ち物に対する責任感が弱い。トイレのスリッパが揃えられていないことや、衣類の落し物・忘れ物が非常に多いこと、宿題や学用品の忘れ物（特に、持ち帰り忘れ）が気になるところである。学校全体で指導していく必要がある。

★学校運営協議会から★

3月11日に学校運営協議会が開かれ、委員の皆様には後期の学校アンケート結果を報告するとともに、ご意見をいただきました。

- ・登下校中の子どもたちは、元気に挨拶してくれる子もいれば、そうでない子もいる。子どもの名前を呼んで挨拶すると、顔を見て挨拶してくれるようだ。
- ・子どもの下校時間帯に危険が多く潜んでいる。保護者や地域の大人が道に出て顔を出すだけで防犯になる。
- ・子どもの自転車の乗り方や交通ルールが守れてない。大人が見本を示していかなければならない。

今回、「読書」「手伝い」「後片付け」などが課題に上がってきました。いずれも家庭との連携が不可欠な内容です。学校－家庭が連携をとり、取組の改善を図っていききたいと思います。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございます。また、学校運営協議会の皆様には適切なご助言をいただきありがとうございます。次年度もご協力の程よろしくお願いいたします。

この印刷物は、不要になりましたら「**雑がみ**」としてリサイクルできます。
コミュニティ回収や古紙回収等にお出ください。

